

広報

もり 中部の森林



写真：令和5年度新規採用者(中部森林管理局森林鉄道前)

私の森語り『森とつながるいのちのわ』
NPO法人やまぼうし自然学校 代表理事 加々美貴代

本局トピックス

- ・新局長 今泉裕治 ご挨拶

特集

- ・新旧幹部の挨拶、新規採用者の紹介

各地からの便り

- ・中部山岳国立公園の多様性保全等を目指しコンソーシアムを設立 ほか

シリーズ

- ・森林官からの便り、私の森語り、
秘蔵写真・今は昔の林業、中部の保護林



林野庁中部森林管理局

国民の森林・国有林



2023/No.229



新局長就任のご挨拶

中部森林管理局長

今泉 いまいずみ

裕治 ゆうじ

四月一日付けで中部森林管理局長に就任しました今泉と申します。

関係機関や関係団体・事業者、地域住民・一般市民の皆様など、日頃から国有林の管理経営に対しご理解とご支援・ご協力を賜っている全ての方々に、この場をお借りして心から御礼を申し上げます。

私は、今から三十年あまり前に、当時の付知営林署（現在の東濃森林管理署）の担当区主任（現在の森林官）および名古屋営林支局（現在の名古屋事務所）造林課の係長を計三年間務めさせていただきました。今回、ご縁があつて中部森林管理局で仕事をする事になり、大変うれし

く思っています。

さて、平成二十五年度から国有林野事業が一般会計化され、ちょうど十年が経過しました。それまでの特別会計から一般会計に移行したことに伴い、国有林が果たすべき役割は、「国民の森林」として多面的な機能を十全に発揮していくことなのか、民有林も含めた面的な機能の発揮への貢献や民有林関係者への技術の普及など、より大きく多様なものとなりました。

中部森林管理局においても、地域の特性等に応じた様々な取組を行ってきていますが、近年、地球温暖化を背景に集中豪雨による山地災害が頻発する中、安全で安心して暮らせる国土づく

りが一層重要となつていること、様々な活動を通じて森林とふれあい、森林で遊び・学び・楽しみたいというニーズが高まつていること、また、民有林において森林所有者自らが森林の経営管理を実行できない場合に市町村が森林の経営管理の委託を受ける「森林経営管理制度」が創設されたことに伴い、市町村行政への技術的な支援のニーズが高まつていることなど、期待される役割・使命は益々大きくなつていると認識しています。

こうした期待に的確に添えていくためには、皆様からの声にこれまで以上に耳を傾け、幅広い角度から闊達に議論・検討しながら取組を進める必要があると考えており、随時、忌憚のないご意見・ご助言をお聞かせいただくことをお願いする次第です。

◆略歴

出身地 滋賀県
昭和62年4月
林野庁 業務部業務第一課採用
平成29年1月
林野庁 森林整備部
森林利用課長
令和2年1月
林野庁 森林整備部付
令和2年4月
国立研究開発法人森林研究・整備機構森林整備センター審議役
令和3年4月
国立研究開発法人森林研究・整備機構理事（林木育種センター所長）



付知峡自然休養林内の高樽の滝
(東濃署管内)

退任のご挨拶

前局長

関口

高士



このたび、中部森林管理局長を退任することになりましたが、在任中は地域の多くの方々に変お世話になりました。ありがとうございました。

さて、私は、昨年の六月末に就任したわけですが、中部森林管理局長になれる、と決まった際は本当にうれしくて、これまでの立場ではできなかったような取組を進められなかったか、と様々な構想を練ったりもしました。

また、今までの経験から言えば、やりたいことがあれば早めの手をつけないとすぐに異動がやってくる、ということ、構想を元に、職員にあれをやらなにか、これはどうだろうと提示

したところですが、想定以上に異動の時期が早く、結果的に苦労をさせただけ、というようなことも多く、このことに関しては、残念かつ申し訳ない気持ちでいるところです。

一方、コロナ禍にあつて、関係者の方々とお話しする機会に限られていましたが、各自自治体の首長さんや業界の方々等と様々な意見交換の場を持てたことは、業務を進める上で大変参考になるとともに、改めて地域で国有林を大事にしていたでいる、と感じることができました。

また、各森林管理署等をまわり、若手職員から忌憚のない意見を聞く、という場を持ちましたが、非常にわかりやすい不満をダイレクトに聞くことができた一方、自分が若かった頃に比べれば、はるかにきちんと仕事に向き合っている姿を確認することができ、頼もしく思ったところです。

このような直接コミュニケーションをとることで得られた情報や感覚は、施策や業務にも反映しやすく、その重要性に改めて気づかされた期間でもありました。

就任当初、本誌に掲げた安全の確保や情報の発信については必ずしも胸を張れる状況には至っていないことも含め、私自身はあまり地域のお役には立ってなかつたところではありますが、中部森林管理局の職員は、様々な地域の課題に真摯に取り組んでいます。



局若手職員との意見交換

また、管内の森林は魅力にあふれ、その成長とともに、林業・木材産業には、さらなる成長が見込まれます。加えて、ダイナミックな地形・地質の中で、困難を克服するための治山や土木に関わる技術は、どの地域にも増して磨かれていると思います。

やっぱり中部森林管理局はよかったなあ、後ろ髪を引かれる思いしかありませんが、ご支援、ご協力をいただいた地域の森林・林業に関わるすべての皆様、また、本誌をご覧いただいている皆様の益々のご発展とご健勝を祈念して、退任のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



現地視察 (赤沼田の天保林)

新幹部の紹介(4月1日)



次長(名古屋事務所長)
たかはし あずま
高橋 東

この度、次長を拝命しました高橋です。

出身は岩手県北上市です。私が故郷を後にした時分には、知名度が低かった岩手ですが、最近ではWBCでの大谷翔平選手や佐々木朗希選手の活躍などにより、少し知名度が上がったのではないかと思っております。

私はこれまで、本庁のほか東北局、関東局、四国局での勤務経験がありますが、今回、縁あって中部局勤務の機会をいただき、管内の森林・林業に携わる関係者の皆様と様々な場を通じておつき合いくることを楽しみにしております。

さて、今年度は「国有林野の管理経営に関する基本計画」の

策定を控えており、中部局においても、伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換を可能とする「新しい林業」の取組を加速させるとともに、災害対応や民有林への支援などの取組を着実に推進していくことが求められております。

このような情勢を踏まえ、地域の関係者の皆様のご意見に耳を傾けながら、前向きに地域林業の諸課題に取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

◆略歴 出身地 岩手県

- 昭和57年4月 青森営林局採用
- 平成28年4月 林野庁 国有林野部 管理課 課長補佐(人事研修班担当)
- 平成30年4月 四国森林管理局 四万十森林管理署長
- 令和2年4月 関東森林管理局 総務企画部長
- 令和4年4月 林野庁 国有林野部 管理課 管理官



総務企画部長
しらい けんじ
白石 健二

総務企画部長を拝命しました白石です。初めての中部局勤務です。

さて、私たちが仕事を行っていく上で、また生活していく上で何より大事なのが「健康」と「安全」です。安全については、「災害を出さない」「出させない」という決意のもと取り組んでいきたいと考えています。

また、職員の皆様とともに新型コロナウイルス感染症対策や心身の健康管理に努め、「明るく、風通しのよい職場づくり」に向けて取り組んでいきたいと考えていますので、よろしく申し上げます。

◆略歴 出身地 熊本県

- 昭和58年4月 熊本営林局採用
- 平成25年12月 東北森林管理局 仙台森林管理署 次長
- 平成31年4月 林野庁 国有林野部 管理課 課長補佐(安全衛生班担当)
- 令和3年4月 九州森林管理局 佐賀森林管理署長



森林整備部長
いぐち まさき
井口 真輝

このたび森林整備部長を拝命しました井口です。

中部局での勤務は初めてとなりますが、温暖な低標高地帯から日本アルプスと呼ばれる山岳地帯にかけて多様な国有林を抱えており、このようなかで森林づくりに携わることができるのは、大変やりがいがあると感じています。

事業者や自治体からの意見にしっかりと耳を傾けるとともに、職員の皆さんともよく議論をしながら業務に取り組むみたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

◆略歴 出身地 愛知県

- 平成2年4月 林野庁 業務部 業務第一課採用
- 平成28年8月 林野庁 林政部 木材産業課 木材製品技術室長
- 平成30年4月 九州森林管理局 計画保全部長
- 令和3年4月 林野庁 国有林野部 経営企画課 国有林野総合利用推進室長

**お別れにあたって
退官のご挨拶**

前次長（名古屋事務所長）
難波 真悟



その昔、秋田営林局採用をもつて始まった四十二年間の片道の旅を中部森林管理局で終えました。

旧秋田旧青森を含む東北局、近畿中国局、林野庁と勤務を重ね、中部局では最後の一年を過ごさせていただきました。

豊かで雄大な自然環境の中で、職場、地域、関係機関の皆様からご厚情をいただきましたことに感謝申し上げます。

振り返りますと、落ち着いてきたとはいいながらも依然コロナ禍が続く、対面の会合が増えた一方で感染状況によりWeb会議に切り替わるなど様々な対応を

迫られた中で、公益的機能の一層の発揮、林業の成長産業化への貢献、国民の森林としての管理経営の三本柱の下、しっかりと業務を継続されてきた職員の皆様と仕事をさせていただき、充実した一年となりました。

特に印象深いのは、局長が管内の若手職員と意見交換の機会を作ってくれたことです。

多くの要望等が寄せられましたが、前向きな意見が多く、我々が遠い昔に忘れてきたものを感じさせられるものもあって、これからの林政や国有林野事業を担う積極果敢な若手職員が多数いてくれたことを嬉しく思いました。未来は皆さんのものです。奮闘を期待します。

今後は組織を離れた立場となりますが、国有林野事業への協力は惜しみませんので、お声がけいただければありがたいです。

最後に、中部森林管理局の益々の発展と職員皆様のご健勝を祈念してお別れの言葉といたします。

ありがとうございました。

**お別れにあたって
退官のご挨拶**

前総務企画部長 **廣田 祐一**

昭和五十八年前橋局をスタートに奉職四十年、福島・新潟・群馬県の各署や本庁・省を経験、二十年ほど前に生まれ育った長野の勤務に恵まれ約十年間、局、飛騨、南信、南木曾、名古屋に勤務、再び本庁・関東、三度目の本庁を経て、令和三年より中部森林管理局勤務に、この間、皆様から温かいご指導、ご厚情をいただき心より感謝申し上げます。

コロナ禍でマスク越しが日常、会議や研修にWebが広がる変化もありましたが、現場を支える気持ちで様々なことに取り組み、良き思い出にもなりました。退職のゴールを駆け抜け元気に精進してまいります。

皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます。お別れの言葉といたします。ありがとうございました。



**お別れにあたって
異動のご挨拶**

前森林整備部長 **山口 孝**

この度、東北森林管理局盛岡森林管理署へ異動となりました。

二年間の在任中は、コロナ禍の真つ只中発生したウッドショックにより木材価格が高騰する中で国有林材の安定供給に取り組んだこと、森林・林業基本計画で打ち出された新しい林業の展開に向けた取組を始めるなど、初めての中部局勤務でしたが充実した経験ができ、誌面をお借りして職員や関係者の皆様に御礼申し上げます。

また、学生時代以来久し振りにアルプスの山々を訪れることができたのも良い思い出となりました。中部局の素晴らしい国有林がますます充実しますように！



新規採用者の紹介

- ① 出身地
- ② 趣味・特技
- ③ 社会人になつての抱負

どうぞよろしく
お願いします。



さらたに こうへい
更谷 航平
(富山署)



- ① 大阪府大阪市
- ② 登山、旅行、散歩、ゲーム
- ③ 業務に対し熱意を持ち、常に謙虚で、関わる人達への敬意を忘れずに取り組んでいきたいです。



まつもと なぎさ
松本 風彩
(北信署)



- ① 石川県中能登町
- ② ドライブ・銭湯巡り
- ③ 物事へ柔軟に対応する力をつけ、いち早く職場や地域へ貢献したいです！ご指導の程、よろしくお願いたします！



はやかわ しゅう
早川 史悠
(中信署)



- ① 岐阜県山県市
- ② 温泉巡り・野球
- ③ まだ社会に出て間もないので、たくさんの方の意見を見て聞いて学び、早く一人前の社会人になれるよう精進していきます。



かとう みやび
加藤 雅
(東信署)



- ① 福島県福島市
- ② 体を動かすこと、旅行
- ③ よりよい森林管理を目指し、一つ一つの業務に自分で考えながら取り組んでまいります。



くまだ あかり
熊田 朱里
(南信署)



- ① 岐阜県岐阜市
- ② 音楽鑑賞、読書、絵画
- ③ 自身の未熟な部分としつかり向き合い、謙虚に学び続ける姿勢を忘れないで日々業務をこなしていきたいです。



おおつき あずみ
大槻 あずみ
(木曽署)



- ① 京都府京都市
- ② スキー、お酒と食
- ③ 少しでも早く業務に慣れるよう、日々精進してまいります。



しおかわ まさき
塩川 誠貴
(木曾署)



- ① 長野県北安曇郡池田町
- ② 野球
- ③ 向上心を持ち、日々多くの事を吸収し、地域に貢献できるように努めていきたいと思っております。



ただな みのり
棚田 みのり
(飛騨署)



- ① 長野県飯田市
- ② パン作り・散歩
- ③ 一つ一つの業務に丁寧に取り組み、多くの経験を得ることで、職場・社会に貢献できるよう頑張っていきます。



すずき ゆうすけ
鈴木 優介
(飛騨署)



- ① 愛知県愛西市
- ② 素潜り、合気道
- ③ 仕事と山林での生活に親しみ、自分が日々吸収したことを地域に少しでも還元できるように頑張ります。



すぎうら ゆうほ
杉浦 有穂
(岐阜署)



- ① 愛知県刈谷市
- ② 筋力トレーニング
- ③ これから経験することを着実に力にし、国民の皆様が安心して暮らせるように全力で頑張りたいです。



のざき ともみ
野崎 智美
(岐阜署)



- ① 愛知県豊田市
- ② 読書、暗算
- ③ 日々真剣に業務に励み、皆さんのお役に立てるよう努力していきたいです。よろしくお願いたします。

①山口県熊毛郡田布施町
②ドライブ・温泉旅行
③異業種からの挑戦となりますが、一日でも早くお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願いたします。



ふじい こうじ
藤井 浩司
(愛知所)



①岐阜県下呂市
②バレーボール、散歩
③社会人1年目で至らぬ点も多いですが、向上心をもって取り組み、地域に貢献できるよう頑張りたいです。



たぐち あさな
田口 朝菜
(東濃署)



①岐阜県加茂郡八百津町
②旅行・トランペット・園芸
③「隼より始めよ」の精神で、身近なところから少しずつ業務を習得できるように努めます。よろしくお願いたします。



おおたけ たかゆき
大脇 敬之
(東濃署)



①長野県長野市
②旅行、ライブ鑑賞
③何事にも前向きに取り組み、一日でも早く皆さんのお役に立てるよう努力してまいります。よろしくお願いたします。



たかはし だいすけ
高橋 大輔
(中部局)



①長野県南佐久郡佐久穂町
②スポーツ、温泉、食べ歩き
③地域の皆様からのニーズ、課題等について伺いながら様々な業務に取り組んでまいりたいと思います。



ささぎ しんいち
笹崎 慎一
(中部局)



①愛知県刈谷市
②温泉巡り・読書
③自分と周囲の人々と真摯に向き合い、勤勉に物事に取り組みます。よろしくお願いたします。



おおたけ ふみや
大武 史弥
(技セン)



R5.4.11 入庁式ピックアップ

ようこそ！
中部森林管理局へ

令和五年四月一日、中部森林管理局へ十八名の職員が採用され、管内各署等に配属となりました。四月十一日に本局にて入庁式が行われましたので、その様子をご紹介します。

①長野県茅野市 ②サッカー
③一日でも早く仕事を覚え、職場の一員として役に立てるよう努めたいです。また、業務を通して知見を広め、社会に貢献できるように励みたいと思います。



なかむら いくや
中村 育野
(中部局)




13:05~

新規採用職員紹介
幹部職員が見守る中、総務課長から順番に、所属と名前を呼ばれ、元気に返事し、起立。



13:10~

局長訓示
分からないことや不安なことは確認すること、今までのやり方などを鵜呑みにせずフレッシュな目線で物事をみる、目の前の仕事以外も幅広く興味を持つよう訓示。



13:20~

先輩職員祝辞
失敗を恐れずチャレンジし、悩みや相談事は周りの人や自分たちのような年齢に近い職員に相談し、仕事のやりがいを感じるために目的を理解するようアドバイス。



13:30~

記念撮影
気持ちよく晴れ渡る空のもと、今泉局長、白石総務企画部長、山崎計画保全部長、井口森林整備部長、林総務課長と採用同期の記念撮影。



関係者による記念撮影

**中部山岳国立公園の
多様性保全等を目指し
コンソーシアムを設立**

【^{とやま}富山森林管理署・^{ちゅうしん}中信森林管理署・^{ひだ}飛騨森林管理署】

三月十四日、松本市内において、「中部山岳国立公園における生物多様性保全に向けた気候変動等への適応に関するコンソーシアム」の設立総会が開催されました。

本コンソーシアムは中部山岳国立公園内で調査・研究を行っている大学等の研究機関、国立公園を管理する環境省、国有林を管理する森林管理署とで主に自然環境分野に関する調査・研究成果の収集や情報共有を図り、国立公園内の生物多様性保全や公園利用のあり方を検討する目的で設立されたものです。

この設立に向けて、各森林管理署と中部山岳国立公園管理事務所の間でコンソーシアムの運営方法等について協議を重ね、公園内で研究等を行っている各機関に対し、参画要請を行った結果、二十一

団体から参画の意思が示されました。

総会には、参画団体、傍聴者合わせて約七十名が参加し、設立趣旨・目的や設置要領について事務局より提案があり、参加者の拍手をもって確認、承認されました。

その後、参画する研究機関の調査・研究報告として、八名の方より取り組んでいる調査等についての成果発表が行われました。

参加者全員による意見交換では、「自分たちの取組とは違う分野、観点からの発表を聞ける機会ができたことは有意義」「新たな連携につながる可能性もあり本コンソーシアムが研究機関と山岳関係者等をつなげるコーディネーター役として機能することにも期待したい」など、今後の活動に対する期待の声も聞かれました。

今後は、本コンソーシアムの代表である中部山岳国立公園管理事務所長を中心に各森林管理署も協力し、研究成果などに基づいた生物多様性保全等に向けた様々な対応を検討してまいります。

**富山県内の製材工場・
木質バイオマス発電所を見学**

【富山森林管理署】
とやま

二月六日、富山県内の製材工場及び木質バイオマス発電所を当署の職員七名で見学させていただきました。

住宅・建築資材等を製造している氷見市の岸田木材株式会社では、「食品ロスを少なく利用すること」を理念とし、地元「ひみり山杉」などの県産材の活用推進や



製材について説明を受ける職員



蒸気式高温減圧木材乾燥機

親子で参加できる森林整備の体験会など、里山の保全や人と自然が共存できる地域環境づくりをされており、丸太の皮剥きから乾燥、製材までの一連の製造過程を見学しながら、説明を受けました。新しく導入された蒸気式高温減圧木材乾燥機や木材を削る機械（モルダ）などの設備も充実し、また、丸太の特性に合わせた製材技術を研究されており、質の高い製品を安定して供給できる体制が整えられていました。午後からは射水市に移動し、未

利用材等を燃料とする木質バイオマス発電所を県内で初めて稼働させた株式会社グリーンエネルギー北陸と木質チップを製造している株式会社グリーンマテリアル北陸にて見学させていただきました。未利用材とは、森林整備などの際に搬出されない間伐材や枝条など、通常は用途がないといった理由から林地に残される木材です。木質チップの製造工場では、樹種や太さに関係なく、樹皮のついた丸太でもチップ化することが可能な大型の木材破砕機が導入されており、様々な樹種が混ざり合った木質チップが製造されています。現在、木質バイオマス発電の最大の課題は燃料となる木材の安定供給であるため、県内の山林所有者から直接山林を購入し、伐採から植林まで一貫した作業を実施する取組も始められているとのことでした。今後とも各種見学会をとおして地域の森林資源の活用状況等について見識を深めていきたいと思っております。

金華山で山火事防衛訓練

【岐阜森林管理署】
ぎふ

二月二十八日、岐阜市にある金華山国有林において、「春の火災予防運動」前に合わせて毎年実施されている山火事防衛訓練が行われ、岐阜市消防本部、岐阜市内各消防署、岐阜県防災航空隊、岐阜市役所、岐阜観光索道、当署から約二百名が参加しました。

訓練では、ヘリコプターによる空中消火、ホースやジェットシューターによる地上消火を行いました。

このほか、観光客や登山者の避難誘導など、金華山に関わる組織が連携して訓練にあたりました。

今後とも、関係機関と協力し、林野巡視等を通じて山火事防止活動に努めます。



ホースによる消火訓練





協定締結の様子 (左から、岐阜森林管理署長、涌井学長)

**岐阜県立森林文化アカデミーとの
連携協定を締結**

【岐阜森林管理署】

三月六日、岐阜県立森林文化アカデミー会議室において、森林文化アカデミーと当署との連携に関する協定締結式を行いました。

本協定は、それぞれの人材や資源等の活用を図りながら、森林の有する多面的機能の持続的な発揮、森林資源の有効利用、森林・林業の再生及び人と自然が共生す

る持続的社会的創造と発展に貢献できる調査研究及び人材育成等を促進することを目的としたものです。

協定内容には、「教育、試験・研究のためのフィールドの提供並びに技術開発や調査研究の成果及び資料等の提供」「技術開発や調査研究等に係る指導及び助言」「専門的かつ高度な知識・技術を有する人材の育成」などが盛り込まれています。

締結式では、森林文化アカデミーの涌井史郎学長と当署の署長が協定書に署名して連携協定が締結されました。

記念撮影を行ったのち、涌井学長から「今後、様々な面で連携し、事業に取り組んでいきたい」、当署の署長からは「協定の目的が達成できるように協力して頑張っていきたい」との挨拶が述べられました。

協定の締結により、当署と岐阜県立森林文化アカデミーが、これまで以上に連携し、様々な取組を充実させていくことが期待されています。

**環境省が進める保護増殖事業と
ライチョウについて勉強会を開催**

【南信森林管理署】

三月八日、環境省信越自然環境事務所の職員を講師に迎え、環境省が進める保護増殖事業の概要とライチョウの基礎知識についての勉強会を開催しました。

今回の内容は、地域において関心が高いこと、また、保護増殖事業は地域の協力及び連携が必要であり、情報共有の観点から当署職員のほか、木曾森林ふれあい推進センター職員や関係自治体の伊那市、駒ヶ根市、宮田村職員など総勢約四十名が出席しました。

保護増殖事業の概要では、当署管内に関係する国内希少種（草本のヤシヤイノデ及びセンジョウスゲ、蝶のタカネキマダラセセリ）の調査結果を踏まえた今後の対応等について講義を受け、ヤシヤイノデ、センジョウスゲ、そして、タカネキマダラセセリの食草であるイワノガリヤスは、いずれもニホンジカの食害による個体数減少が課題となっており、当署も参加



熱心に聞き入る出席者

して実行している南アルプス馬の背周辺の防鹿柵設置による高山植物等保護対策の必要性を改めて認識しました。

当署管内に生息するライチョウについては、雌雄の見分け方、北半球の寒冷地域に広く分布し、本州中部のアルプスは世界最南端の生息地であること、中央アルプスに飛来した雌は北アルプスの集団に由来していること、雛は雌親の盲腸糞を食べて生存に必要な腸内細菌を摂取していることなどを学び、有意義な勉強会となりました。

シリーズ

森林官からの便り

【富山森林管理署
常願寺川治山事業所】

富山 常願寺川治山事業所は、富山
県富山市（旧大山町）に所在し、
常願寺川の上流部に位置するス
ゴ谷にて、民有林直轄治山事業
を実施しています。

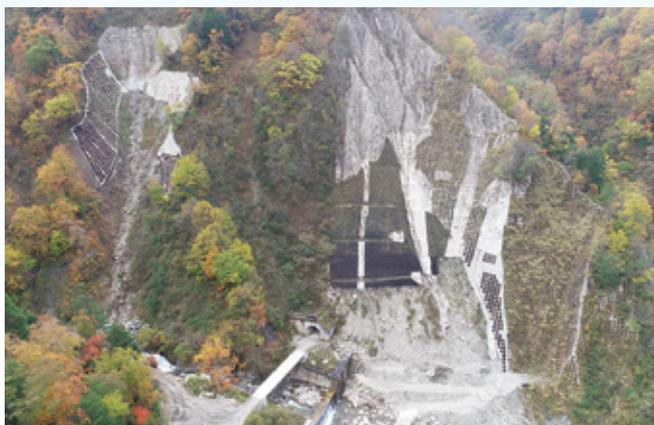
常願寺川は、わが国屈指の急
流河川であり、一八九一年に常
願寺川治水事業の指導に当たつ
たオランダ人技師のヨハネス・
デレーケが「これは川ではなく、
滝である」と評したことでも有名
です。

事業地のスゴ谷は、東西約六・
五キロ、南北約四・五キロの巨大
な立山カルデラの南側に接した
流域であり、一八五八年の飛越
地震により大崩壊が発生した
鳶山の南から西側斜面にあたる
ことから、山地災害対策の対象

国有林の現場の最前線で、働く
森林官の仕事や、管轄する地域
の特色などを紹介します。

として関心が高い地域です。

スゴ谷は民有林であるため、
昭和四十二年から富山県が治山
事業を行ってきましたが、事業
規模が著しく大きく、高度な技
術を必要とすることから、富山
県や関係各方面からの強い要請
を受け、平成九年度から国によ
る民有林直轄治山事業に着手し、



在来種の活着により緑化が進む工事箇所（スゴの谷）

現在に至っています。

豪雪地域であるスゴ谷は、積
雪により工事可能な期間が六月
から十一月月上旬までであり、貴
重な自然を有する中部山岳国立
公園内に位置するため、在来種
の定着による緑化を促進するな
ど、自然環境に配慮した工法で
工事を進めています。

また、工事箇所は山間部奥地
で通信エリア圏外となっている
ことに加え、林道を大きく迂回
してアクセスしなければならな
いため、工事の段階確認や材料
検査等の立会時には、移動時間
が大きなウエイトを占めている
事情があります。

こうした背景から、効率的な
業務運営と作業員の安全確保等
を目的に、通信可能エリアの電
波を中継して工事箇所まで到達
させることで通信環境を構築し、
安全対策を向上させるほか、遠
隔臨場の実現によって業務の効
率化を図るといった技術開発に
も取り組んでいるところです。



通信環境構築システム

■未来の担い手へのメッセージ

治山事業は、山地災害から国
民の生命・財産を守る重要な役
割を担っています。近年は豪雨
の激甚化等により、各地の安全
対策が注目される中、治山事業
を担当して安全のために尽力す
ることはやりがいのある仕事だ
と実感しています。一緒に働い
てみませんか!!



工事の段階確認をする筆者

シリーズ

「私の森語り」

もりかた

森林・林業との関わりの中で、
様々な課題に挑戦されている方
の取組を紹介します。



「森とつながるいのちのわ」



NPO法人やまぼうし自然学校
代表理事
加々美 貴代

■自己紹介

大学で林学を専攻し、卒業後は東京の造園会社で都会の緑に触れる仕事をしていました。

二〇〇一年にやまぼうし自然学校主催の講座受講をきっかけに、翌年から常勤職員として活動を始めました。

世代や性別の枠を越えて、「自然」や「森」を舞台に、「思いをかたち」にする場がやまぼうし自然学校です。その手助けができる事にやりがいと誇りを感じて日々業務にあたっています。

■活動内容

長野県菅平高原に本部拠点を置き、修学旅行や林間学校、キャンプなど野外活動で訪れる首都圏の主に小中高生へ、多角的な視点をテーマにした約三十種類の自然体験プログラムの提供と、地域の小学生に「森でモリモリ遊び隊」、幼児とその親ごさんには「森あちよびクラブ」という仲間作りの場の提供を行っています。



森でモリモリ遊び隊

プログラムを通じて、これからますます重要となる「自分で考えて行動する」力を養っています。外あそびや野外での自然体験活動が当たり前にできた時代はもう終わり、今は誰かが教える必要があると感じています。親や兄弟、祖父母、近所のおじさん、おばさんの役割を果たすのがやまぼうし自然学校の役割だと考えています。自然の中での遊びや様々な世代の人との交流の中で、「非認知能力」いわゆる「生きる力」が育つからです。

首都圏では「森を楽しむ講座」などシニア向けの観察会を実施し、おとなの生涯学習のお手伝いもしています。



首都圏での森を楽しむ講座

自然との交流プラットフォーム「やまぼうし自然学校」として「だれにでも自然の恩恵を」「自然への入り口を」を目指し、「やってみたい」を実現する場として「森、自然の価値」を「有って当たり前」の存在から「無くてはならない存在」へと「高付加価値」のあるものへ高めていきます。



ベニテングタケ

■メッセージ

センス・オブ・ワンダーを合い言葉に、誰もが幸せに感じる時間を森を舞台に提供します。

医学の父ヒポクラテスの言葉に「人は自然から遠ざかるほど病気になる」と、今まさに自然体験活動が必要な時代です。さあ、森へ出かけましょう！

○連絡先

長野本校

〒386-12204

上田市菅平高原1223-5751

電話・0268-74-2735





昭和47年、飯田営林署
(現在の南信森林管理署)での植樹祭

「植樹祭」
春は植樹祭のシーズンです。本連載「愛林日」(令和四年五月号)では戦前の植樹活動に触れましたが、戦後は昭和二十年代後半から全国各地で植樹祭が盛んに行われるようになりました。
この背景には戦時中の無理な伐採とその後植樹がされなかったことによる森林の荒廃が問題となり、災害も多く発生したことの反省がありました。

今は昔、山村に暮らす人々とその生業としての林業を当局秘蔵の写真とともにご紹介します。

シリーズ

秘蔵写真

今は昔の林業

第24回

中部森林管理局総務課

井上 日呂登



昭和30年頃
小坂営林署(現在の岐阜森林管理署)での植樹祭

植樹祭は国有林(営林局)単独で行う場合もありましたが、各県庁や市町村と合同で行うことが多いものでした。記録を見ると昭和三十年代の植樹祭は四月に行われることが多かったのですが、昭和五十年代以降は五月開催が多くなり、六月開催のケースもあります。

昭和二十五年には全国行事として全国植樹祭(当時は「植樹行事ならびに国土緑化大会」という名称)が始まり、昭和二十二年の岐阜県を始めたとして、中部各県でも開催されています。



昭和30年代頃、旧名古屋営林局管内での植樹祭

ここで紹介している写真は、当局サイト「モノクロ森林紀行」で紹介しております。これは、カラー写真のない時代へ時を超えて！むかしの写真を紹介するサイトです。
当サイトへは、コードを読み込んでください。



シリーズ

世界的にも希少な温帯性針葉樹林

木曾 生物群集保護林

設定目的

当保護林に生育している天然生のヒノキやサワラ等を含む温帯性針葉樹林は、世界的にも希少であると言われています。

現存する温帯性針葉樹林の遺伝資源や森林生態系を、まとまりと連続性をもって保存するとともに、保護林内の人工林を天然林へと誘導することで、温帯性針葉樹林の復元も併せて実施しています。

また、「木曾悠久の森」の核心地域として、地元市町村や事業者、大学・研究機関、NPO、メディア等と連携・協働しつつ、モニタリングや取組のPRを進めています。

地況・林況

日本三大美林の一つである樹齢三〇〇年以上の木曾ヒノキの美林を中心に、木曾五木（ヒノキ、サワラ、アスナロ、コウヤマキ、ネズコ）が林立しており、その中にミズナラやホオノキ等の落葉広葉樹が生育しています。

所在地

長野県 木曾郡 王滝村、上松町、大桑村
岐阜県 中津川市



※自然保護のため、詳細な位置情報は掲載しておりません。

国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年（大正4年）以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。

お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイヤルイン：026-236-2612



※詳細は、コードを読み込んでください。

「木曾悠久の森」に関する
講義動画を公開しました

木曾の森林（長野県の木曾地域や岐阜県の裏木曾地域）は、天然のヒノキ・サワラ材といった良質な木材の生産地として古くから知られてきました。現在でも歴史的・文化的に貴重な社寺仏閣等の維持や地域の木材産業の継承・振興に大きな役割を果たしています。

今月号の「シリーズ 中部の保護林（木曾生物群集保護林）」でもご紹介しましたが、温帯性針葉樹林に分類されるこの森林は、針葉樹を中心に様々な植物や動物が生育・生育する生態系であり、世界的にも大変希少な森林です。中部森林管理局では平成二十六年に木曾地方の国有林一六、五七九鈔を「森林生物多様性復元地域（木曾悠久の森）」とし、天然林を厳格に保存する核心地域（コアa）、人工林から天然林へ復元する核心地域（コアb）、コアを守るための緩衝地域をそれぞれ設定し、人工林の

優良木材を得つつも、広がりをもって永続する天然林を復元させる作業を、長期的な計画のもとで行っています。

昨年八月、「木曾悠久の森」管理委員会の委員長であり、森林生態学の第一人者である故山本進一先生（豊橋技術科学大学 副学長（当時））に、当局の職員向けに温帯性針葉樹林（特に木曾ヒノキの生態）についての講義をしていただきました。

そしてこのたび、農林水産省の公式YouTubeチャンネルにてこの講義の動画を公開しました。温帯性針葉樹林や木曾ヒノキ、サワラの特性等について、分かりやすくお話しただいておりますので、是非ご視聴ください。

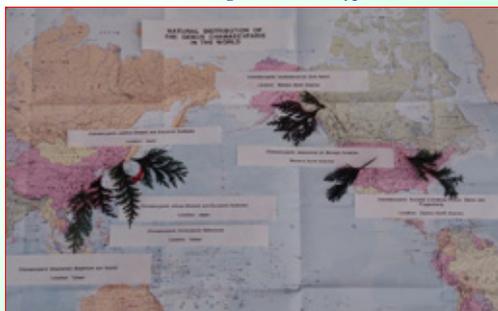
山本先生におかれては、昨年九月三日に逝去されました。故人の生前のご功績を偲び、心より哀悼の意を表しますとともに、ご冥福をお祈りいたします。

農林水産省の公式YouTubeチャンネルへは、こちらのコードを読み込んでください！



世界におけるヒノキ属の分布

Natural distribution of the genus *Chamaecyparis* in the world



Japan : *Chamaecyparis obtusa*, ヒノキ *C. pisifera*, サワラ
Taiwan : *C. taiwanensis*, タイワンヒノキ *C. formosensis*, ベニヒ
North America : *C. nootkatensis*, カナダヒノキ *C. lawsoniana*, ローソンヒノキ *C. thyoides*, スマヒノキ

講義資料の一部



動画のワンシーン

編集長だより

（中部の森林へのご意見・ご要望等の投稿は、migoro@maff.go.jpまで電子メールでお送りください。）

令和5年度が始まり、18名の新たな仲間が加わりました！

表紙の写真は、今年も森林鉄道前での撮影となりましたが、新規採用者のみなさんの緊張しながらも豊かな表情を見て、これからの出会いや出来事の一つひとつが、みなさんの物語になっていくことを想像し、嬉しく思いました。

「出会いには私に味方する」

私が入庁してすぐに、上司から広報誌にスペースがあるようだから、何でもよいから書いてごらんと言われ、何を書くか悩んだ末に、今も尊敬する大学時代の友人との出会いを書いた時のタイトルです。

彼女との出会い、入庁してからたくさんの出会いがありました！

思い出すだけで勇気をもったり、優しい気持ちになれたり、笑顔になれたりする、そんな人との出会い、山や風景との出会いなど、今年度も人生を豊かにする様々な出会いが本誌をお読みの皆様に訪れることを願っています。



9. 「金華山のツブラジイ」(岐阜署管内)

林業の保証実績豊富な**（独）農林漁業信用基金**がご提供

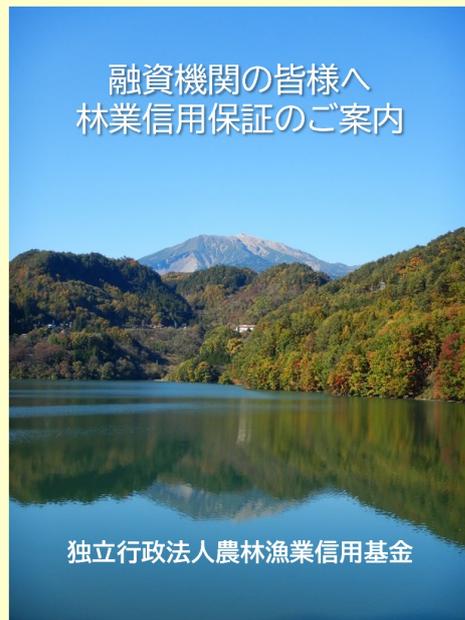
林業・木材産業の創業等支援保証

新たに林業・木材産業を開始する方（新規創業者）、他産業から林業・木材産業へ参入する方（新分野進出者）の資金調達の際に債務を保証します。この場合、**最大で5年間の保証料免除**を受けることができます。

これまで、公務員、会社員、自営業の方の新規創業や、飲食・運輸業関係の企業等の新分野進出のお手伝いをしています。

※融資及び保証については一定の審査をさせていただきます。

ご利用対象者	新規創業者、新分野進出者 ※諸条件がありますのでお問い合わせください。
対象となる資金	林業・木材産業の事業用資金全般
保証限度額	3,000万円
貸付利率	金融機関所定の利率
保証料	免除（最大で5年間）
出資金	保証額に応じた出資金が必要です。（完済後、ご請求により払戻します。）
その他	事業見通しや経営理念などを記載した計画書を作成いただき、審査を行います。 https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/yousiki.html
申込窓口	お近くの取扱い金融機関へお申込みください。 https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/rin-yushikikan.html



林業信用保証パンフレット
(表紙写真：中部森林管理局提供)

お気軽にご相談ください。

（お問い合わせ）

独立行政法人農林漁業信用基金 林業信用保証管理部／林業信用保証業務部
電話：03-3434-7825（融資機関以外の方）／03-3434-7826（融資機関の方）
URL：<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/index.html>



名古屋事務所	〒456-8620	愛知県名古屋市熱田区熱田西町1-20	TEL 050-3160-6660	c_nagoya@maff.go.jp
富山森林管理署	〒939-8214	富山県富山市黒崎字塚田割591-2	TEL 050-3160-6080	c_toyama@maff.go.jp
北信森林管理署	〒389-2253	長野県飯山市大字飯山1090-1	TEL 050-3160-6045	c_hokushin@maff.go.jp
中信森林管理署	〒390-0852	長野県松本市島立1256-1	TEL 050-3160-6050	c_chushin@maff.go.jp
東信森林管理署	〒384-0301	長野県佐久市白田1822	TEL 050-3160-6055	c_tohshin@maff.go.jp
南信森林管理署	〒396-0023	長野県伊那市山寺1499-1	TEL 050-3160-6060	c_nanshin@maff.go.jp
木曽森林管理署	〒399-5604	長野県木曽郡上松町正島町1-4-1	TEL 050-3160-6065	c_kiso@maff.go.jp
南木曽支署	〒399-5301	長野県木曽郡南木曽町読書3650-2	TEL 050-3160-6070	c_nagiso@maff.go.jp
飛騨森林管理署	〒506-0031	岐阜県高山市西之一色町3丁目747-3	TEL 050-3160-6085	c_hida@maff.go.jp
岐阜森林管理署	〒509-3106	岐阜県下呂市小坂町大島1643-2	TEL 050-3160-6090	c_gifu@maff.go.jp
東濃森林管理署	〒508-0351	岐阜県中津川市付知町8577-4	TEL 050-3160-5675	c_tohno@maff.go.jp
愛知森林管理事務所	〒441-1331	愛知県新城市庭野字東萩野49-2	TEL 0536-22-1101	c_aichi@maff.go.jp
森林技術・支援センター	〒509-2202	岐阜県下呂市森876-1	TEL 050-3160-6095	c_gijutsus@maff.go.jp
木曽森林ふれあい推進センター	〒397-0001	長野県木曽郡木曽町福島5473-8	TEL 0264-22-2122	kiso-fureai@maff.go.jp
伊那谷総合治山事業所	〒395-0001	長野県飯田市座光寺5152-1	TEL 050-3160-6075	

発行：林野庁 中部森林管理局
編集：総務課 広報
〒380-8575 長野県長野市栗田715-5
電話：026-236-2531
Mail：migoroo@maff.go.jp
<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

メールマガジンに登録いただくと、広報「中部の森林」を発行日と同時にデジタル版を毎月配信します。
(毎月10日発行※編集の都合で、発行日が遅れることもあります)
登録サイト <https://mailmag.maff.go.jp/m/entry>



本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。